

令和6年度入学式(全日制)式辞

愛宕山すがしきみどりに彩られた今日の佳き日に、京都府議会議員 池田正義様、舞鶴市教育委員会教育長 廣瀬直樹様をはじめ、多数の皆様の御臨席を賜り、令和6年度京都府立西舞鶴高等学校入学式を、かくも盛大に挙行できますこと、高壇からではございますが、厚く御礼を申し上げます。

さて、ただ今、入学を許可しました 194 名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、たった今、西舞鶴高校生、西高生として記念すべき第一歩を踏み出しました。自分で選び、判断し、切り拓く人生がここから始まります。教職員を代表して、心から祝福し、歓迎します。

皆さんの青春の舞台となる西舞鶴高校は、前身となる加佐郡立高等女学校創立から数えること 117 年、旧制舞鶴中学校の流れをくむ学校です。単に歴史があるだけでなく、創立以来、35,000 人を超える皆さんの先輩方が築いてこられた立派な伝統のある学校です。国の内外を問わず各分野の第一線で活躍しておられる先輩方は、「努力の西高」、文武両道の校風を受け継いでこられました。

現在は、学校前の看板にもありますよう、「夢をかなえる場所がここにある」とスローガンを掲げて学業・部活動などに打ち込み、その活躍には地域の方からも大きな期待が寄せられているところです。新入生の皆さんが、自らの「夢への挑戦」を通して、西舞鶴高校の新たな歴史を創造する主役となってくれることを心から願っております。

さて、今日から西高生として生活を始める皆さんには、今からお伝えします 3 つの出会いを大切にしてほしいと思っております。

1 つめは、人との出会いです。学校の中での先輩や先生との出会いだけでなく、学校外で関わる地域の方々や他校の高校生、ボランティア活動などで出会う御高齢の方や小学生といった年齢の異なる人たちとの出会い、さらには交流から、コミュニケーション能力や思いやりを身に付けてください。

2 つめは、本との出会いです。昨年度の卒業生で最も多く図書館で本を借りた先輩は、3 年間で 147 冊の本と出会いました。図書館以外の本も読んでいるでしょうから実際にはもっと多くの本と出会っているはずですが、もちろん、数の多さを競うように言っているわけではありません。いろいろな書物を読む中で、自分の考え方や生き方に影響を与える、自分をよい方向に導いてくれるような本と出会ってほしいと思います。そして、お気に入りの本を何度も繰り返し読んで、自分なりの理解を深め、広げてほしいと思います。

3 つめは、「まだ知らない自分」との出会いです。高校 1 年生である皆さんは、多くの可能性を秘めています。自分でも知らない面を友人や先生が教えてくれることもあるでしょう。高校 3 年間でいろいろなことに挑戦することで、考えもしなかった進路を目指すこともあるでしょう。日々の学習、部活動、生徒会活

動、ボランティア活動、個人で楽しむ趣味などにおける新たな挑戦を通じて自分を磨き、まだ知らない自分、つまり今よりも成長した自分に出会ってほしいと思います。皆さんの先輩も3年間で様々な力を身に付けました。西高は「伸びる学校」なのです。

もうひとつ、今日から西高生として生活を始める皆さんに、偉大な先輩の話をご紹介します。この体育館の前には、ある棒高跳びの選手の像があります。像のモデルは、大江季雄さんです。大江選手は、本校の前身である旧制舞鶴中学校そして慶應義塾大学を卒業され、1936年に開催された第11回ベルリン・オリンピックの棒高跳び競技に出場し、見事、決勝に残られました。7時間にわたる激闘の末、アメリカの選手が優勝を確定させ、大江選手と同じ日本代表の西田修平選手で2位・3位を争うことになりました。夜の9時を過ぎ疲労困憊の中、同じ国の者同士で争うべきではないなどの理由で、2人は競技の打ち切りを要請しました。大江選手は公式記録では3位でしたが、2位の西田選手と同じ高さを跳んでいました。表彰式で、2位の西田選手は、後輩である大江選手のこれからの活躍を願い、そっと大江選手を2位の表彰台に登るように押しやったといえます。オリンピックが終了し帰国した2人は、互いの健闘を讃え合い、銀と銅のメダルを半分に切って繋ぎ合わせました。これが有名な「友情のメダル」です。本校玄関横には、表彰台に立つ大江選手の写真もあります。ぜひとも、御覧ください。

まさに、大江選手は、本校の校訓である、「真理を求め勉学に努める」という意味の「究理」、「高い理想を抱き、その実現に努める」という意味の「尚志」、そして「人を敬愛し、誠実に生きる」という意味の「敬人」を体現された偉大な先輩の1人です。私たちは、皆さんが、大江季雄選手のように高き理想と真摯な努力により文武両道、文芸両道を成し遂げることを願っています。

後になりましたが、新入生の保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠にありがとうございます。高校生となられたお子様の姿を御覧になり、感慨もひとしおのことと拝察いたします。本日より、お子様をお預かりし、3年後には立派に成長され卒業の日を迎えられるよう、人間形成と希望進路の実現に向けて、全教職員が全力で情熱を傾けて参ります。保護者の皆様には義務教育とは異なる高等学校の立場を十分御理解いただき、絶えず連携し、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、公私とも御多用のところ、御臨席いただきました御来賓の皆様、誠にありがとうございました。今後とも、本校教育の更なる発展に向け、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんが、本日の感動を忘れず、校訓の「究理」、「尚志」、「敬人」をもって、さらなる高みを目指して、充実した高校生活を創り上げてくれること、本日御臨席いただいた全ての方々の御健勝と御多幸を心から祈念し、式辞といたします。

令和6年4月9日
京都府立西舞鶴高等学校
校長 田邊 仁司